

JR九州グループ統合報告書

2020



はじめに  
ダイジェスト財務・非財務  
ハイライト価値創造の歴史  
価値創造プロセス社長メッセージ  
CFOメッセージ中期経営計画の進捗  
特集

マテリアリティ

コーポレート  
ガバナンス安全・サービス  
人づくり地域を元気に  
ステークホルダーとの対話

環境

セグメント情報  
財務情報会社概要  
投資家情報

## 目次

## 価値創造ストーリー

- 2 はじめに
- 4 ダイジェスト
- 5 財務・非財務ハイライト
- 7 価値創造の歴史
- 9 価値創造プロセス
- 10 社長メッセージ
- 15 CFOメッセージ
- 19 中期経営計画の進捗
- 21 特集

## 価値創造を支える基盤

- 25 マテリアリティ
- 26 コーポレートガバナンス
- 38 安全
- 42 サービス
- 46 人づくり
- 51 地域を元気に
- 53 ステークホルダーとの対話
- 54 環境

## 価値創造の成果

- 58 運輸サービスグループ
- 60 不動産・ホテルグループ
- 62 建設グループ
- 63 流通・外食グループ
- 64 財務情報
- 70 会社概要
- 71 投資家情報

## 編集方針

本報告書は、ステークホルダーにJR九州グループ（当社及びその関連会社）の経営に対する理解を深めていただくことを目的に作成しています。編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）\*による「国際統合報告フレームワーク」及び経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参照し、当社グループの財務情報に加え、経営方針や事業戦略、ESG情報などの非財務情報を読者に簡潔にお伝えすることを心がけました。より詳細な情報については、当社コーポレートサイトも併せてご参照ください。

\* 国際的な企業報告フレームワークの開発を目指して、民間企業・投資家・会計士団体・行政機関等によって2010年に設立された民間団体です。



## 将来の見通しに関する記述について

本報告書には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。これらは、本報告書の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものです。そのため、今後、国内外及び九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化や、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本報告書に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。本報告書は、日本国内における当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。また、本報告書は、米国における証券の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行うかまたは登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集または販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。目論見書は、当該証券の発行会社または売出人より入手することができますが、これには、発行会社及びその経営陣に関する詳細な情報並びにその財務諸表が記載されています。